

# 秋田県議会議員一般選挙 (秋田市選挙区)

# 選挙公報

令和5年4月9日執行  
秋田県選挙管理委員会



気力充分!  
経験豊富!

## 三浦 茂人(みうら・しげと) 略歴

- 秋田市外旭川生まれ**  
昭和33年4月25日
- 秋田県立秋田南高等学校**  
昭和49年4月～  
昭和52年3月
- 青山学院大学  
経済学部経済学科**  
昭和52年4月～  
昭和56年3月
- 秋田銀行**  
昭和56年4月～平成22年6月(29年3ヶ月)  
平成16年3月 御所野ニュータウン支店長  
平成18年8月 本荘駅前支店長(現・本荘東支店)  
平成21年3月 審査部長を経て22年6月退職
- 秋田県議会議員**  
平成23年4月 初当選  
平成27年4月 2期目  
平成31年4月 3期目

無所属  
3期の実績

## 「是々非々」で県政に邁進します!



産官学協働の  
「外旭川まちづくり構想」の早期実現と  
既存商業地区との相乗効果の創出を実現!!

公式HP更新中!!  
三浦しげと 検索  
www.miurashigetoshi.com



無所属  
三浦  
しげと  
みうら

秋田を前に進める、3期の実績ある「三浦しげと」へ  
あなたの一票を託してください。  
秋田で一緒にはたらき隊!!

## 動かそう! 秋田

人口減少・少子高齢化社会で  
地方都市が生き残る戦略。  
地域資源を磨き合いチャンスを生かす。「誰もが主役」の  
まちづくりを実現します。



**武内伸文プロフィール**  
昭和47(1972)年1月1日、秋田市生まれ。秋大附中、秋田高校、青山学院大学法学部卒。外資系コンサルティング会社に入社。専門は「人・組織の変革」。イギリスの大学院へ31歳で留学し、「持続可能なまちづくり」[都市計画]をテーマに研究に取り組む。平成17(2005)年、帰郷。家業に携わる傍ら、まちづくり団体を立ち上げ、市民有志や地元商店街と共に秋田市内で地域活性化活動に取り組む。平成27(2015)年から6年間、秋田市議会議員を1期半務め、令和3(2021)年、秋田市長選挙に初挑戦。現在、地域活性化活動を続けながら、国際教養大学の研究員として地元小学生と留学生の交流事業などを手掛ける。

## 誰もが安心して活躍できる

- 高齢者活躍**
  - 「いつまでも活躍できる」
  - 外出機会が増える社会 (AI乗合いタクシー、循環バス)
  - 外出しやすくなる社会 (公園都市、歩きやすくなる街、過ごしやすい街)
  - 多世代相互サポート (社会全体での子育て、多世代共同住宅など)

- 安心安全**
  - 「安心して暮らせる」
  - 災害、雪害への安心安全な街 (県民の声を反映した除雪システム)
  - ユニバーサルデザインの積極的な展開
  - 子育てから介護までのベーシックサービスの検討

## 若者が希望を持てる

- 子育て支援**
  - 「安心して出産や子育てを選べる」
  - 医療費・教育費の無償化+ママの声
  - 不妊・不育症の社会理解の啓発・推進
  - 106万円・130万円の壁を越える施策

## 国内外から選ばれる

- 再生可能エネルギー**
  - 「再エネブランドで国内外の英知を集める」
  - グリーン水素都市のブランディングと未来ストーリーの提示
  - 水素製造拠点への研究者、企業の集結
  - 水素スタジアム、水素団地など水素活用の実証実験

## 新しい時代を切り拓いていける若者を育てる

- 人材育成**
  - 時代を切り拓くコミュニケーション教育
  - オンラインによる国内外の教育機関・企業との連携
  - 社会課題に関するインターンシップの推進

## 稼げる産業に磨く

- 既存産業の高付加価値化**
  - マーケティングと物流戦略による稼げる農業支援
  - 5G、AIを活用したスマート農業の推進
  - 産業クラスターを形成した持続可能な林業
  - 伝統芸能・伝統工芸の継承とスマート発信
  - これまで地元を支えてきた企業への更なる支援

## 「若者が暮らしたい・暮らせる秋田」

- 若者支援**
  - 〇ふるさと教育、体験教室の積極的な展開
  - 空き家を有効活用した移住施策の促進

## 「持続的な人材の国際交流を築く」

- オープンシティ戦略**
  - 互いに尊敬・尊重し合うことによる持続的な国際交流の構築
  - 第二のふるさと人材による秋田プロモーション



たけうち  
のふみ  
伸文

## 働きます。皆様の健康と命と秋田の発展のため。

### 新型コロナウイルス感染症対策

- 県民が安心できる医療体制の確立
- 望む人が受けられるワクチン接種の推進
- 将来の新たな感染症への備え

### 健康立県あきたの実現と町づくり

- 子供の頃からの健康教育を推進
- 全世代・全地域・全領域での健康寿命延伸の取り組み
- 人生の最後を住み慣れた街で迎えられるための町づくり

### 子どもまんなか社会の実現

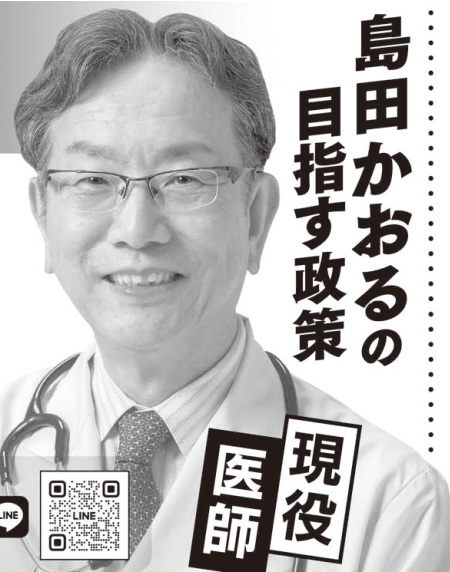
- 秋田県子どもを虐待から守る条例の制定と推進
- 少子化対策の更なる推進
- ひとり親家庭への支援強化

### 持続可能な開発(SDGs)の取り組み

- 誰一人取り残さないための貧困・孤立解消の取り組み
- 風力・地熱・太陽光・小水力発電など再生可能エネルギーの推進
- 風力発電による水素など再生可能エネルギーの利活用

### 秋田県の医療的課題の解決

- 医師の偏在、診療科の偏在の解消
- 必要な人が必要な医療を受けられる体制を整備
- 高齢者など通院困難な方のための診療体制の整備



### 島田 薫のプロフィール

昭和31年生まれ  
秋田大学医学部卒  
秋田市広面在住

### 医師会活動

- 秋田県医師会常任理事
- 森岳温泉病院理事長
- 特養もりたけ理事長

### 地域活動等(抜粋)

- 秋田大学医学部非常勤講師
- 地域医療構想アドバイザー
- 秋田県ナースセンター事業運営委員会委員
- 秋田県循環器病対策推進協議会委員
- 秋田県新型コロナウイルス感染症対策協議会委員



自民党公認  
島田  
かおる



## イージス・アショア計画撤回県民署名を実現! その行動力を県政へ!



働くことや子育てが  
「幸せ」につながる秋田へ

労働  
子育て

- 労働環境・賃金の改善
- 子育て家庭への支援
- 働く人の生活を守る公契約条例の導入

福祉

- バスやタクシーへの公的支援で交通弱者ゼロ
- 福祉車両の導入と乗降者場所の確保

教育

- 教職員の人材確保
- 進学・就学への経済的支援
- 夜間中学の設置
- 学校給食の無償化

多様性

- 特性にあった学びの保障
- 障害者雇用の充実
- インクルーシブな社会づくり
- 多様性の尊重

食  
環境

- 農業の創生と食料自給率の向上
- 再造林率の向上
- 脱原発と住民合意による地産地消型エネルギーへ

政治参画

- 政策予算が保障された子ども・若者議会の実施
- 政策決定過程への当事者の参画

**桜田ゆうこ プロフィール**  
1963年旧千畑村の農家に生まれる。学校事務職員として勤務後、2017年より秋田県教職員組合執行委員長。「STOPイージス! 秋田フォーラム」代表としてイージス・アショア配備計画撤回を求める県民署名などに取り組む。御所野在住。

立憲民主党公認  
桜田  
ゆうこ

秋田県議会議員一般選挙  
(秋田市選挙区)

# 選挙公報

令和5年4月9日執行  
秋田県選挙管理委員会

## 安心と喜び多き“秋田”創出!!

### 誠実一路!! 現場第一の即戦力!!



公明党公認  
**松田**  
とよおみ

松田とよおみ プロフィール

- 1958年 北海道函館市生まれ
- 1977年 北海道函館東高校卒業
- 1981年 創価大学経済学部卒業
- 1981年 ジャスコ(株)(現イオン(株)入社)
- 2003年 マックスバリュ東北(株)に転籍
- 2011年 マックスバリュ東北(株)退職
- 2011年 秋田市議会議員初当選
- 2015年 秋田市議会議員2期目当選
- 2019年 秋田県議会議員1期目当選



### 公約 1 防災・減災対策を前へ進めます!!

気候変動に伴う激甚化・頻発化する自然災害への対応は急務であります。県民の生命と暮らしを守るための流域治水の強化と共に「災害ケースマネジメント」の導入、「タイムライン」の整備、避難所の適正配置、「個別避難計画」の進展、被災者に寄り添った災害廃棄物の処理、デジタル防災の推進など、早急に全県的に対策を進めてまいります。

### 公約 2 産業振興を前へ進めます!!

人口減少・少子高齢化を克服するための「賃金水準向上」「脱炭素化社会実現」「デジタル・DX化」の柱となる中小企業・小規模事業者への取組に重点を置き対策を進めると共に、生業の創出支援への取組を進めてまいります。

### 公約 3 全世代型社会保障を前へ進めます!!

女性や若者、高齢者、障がい者、性的マイノリティー一人一人の差異を認め合い尊重する共生社会に向けた取組が始まっている中、更に今後は、「弱者を助ける社会から、弱者を生まない社会」を目指し、特に、医療・介護・障がい者福祉サービスの充実、女性・若者・高齢者・障がい者の活躍促進を強力に進めてまいります。

## 命と暮らし最優先。岸田大軍拡・大增税ストップ!



大規模開発  
やめて!  
仙石トンネル700億円  
税金の使い方を  
モノから人へ。

知事にモノが言えない  
オール与党県議会で

- 子育て支援 3つの負担をゼロに!  
●小中学校給食費 ●18歳までの医療費 ●子どもの国保税
- 所得向上 ケア労働者の賃金アップ!  
時給を上げる事業所に支援(山形では1人3万円)
- くらし安心 国保税をサラリーマン並みに  
全国知事会も国に公費1兆円投入を要望
- 社会公平 県庁に「ジェンダー平等課」を  
男女賃金格差を是正、女性の社会参画を推進。
- 農業再生 飼料・資材の高騰分の補てんを  
水田活用交付金の削減は見直し

初心忘れず、力をあわせて  
県議会に送っていた「2022年」の  
8年。「命と暮らしを守る」この  
原点を忘れず駆けてきました。  
コロナ禍の現場の要望を、12回  
にわたり知事に申し入れ、対策強  
化をすすめました。  
予算や決算など、私以外は討論  
もせず賛成する議会の中で、発言  
に立ち、PCR検査の拡大や保健  
所の増員、「みなし法人」への支援、  
福祉灯油の増額など、実現してき  
ました。

岸田自公政権の「軍事費2倍」  
は許せません。物価高騰から暮らし  
を立てて直します。  
命と平和を守って頑張ります。  
どうか、大激戦を勝ち抜かせて  
ください。

力をあわせて実現めざします

- 【プロフィール】
- 1961年12月 仙北市西木に生まれる
  - 1999年秋田市議会議員初当選・4期
  - 角館南高校・中道高等看護学院卒
  - 2015年秋田県議会議員初当選・2期(現)
  - 1980年医療法人明和会中道病院勤務
  - 2017年秋田県委員会副委員長(現)
- 加賀屋ちづ子選挙事務所 秋田市土崎港西3丁目10-1 Tel. 090-6489-0389



日本共産党  
**かがや**  
加賀屋ちづ子

県民の声で唯一人県政ただす県都の議席。こんども必ず!!

### YOSHINORI's PROFILE

- 昭和32年 (1957年)9月16日生まれ 65歳
  - 昭和51年 県立秋田工業高校土木科卒
  - 昭和55年 八戸工業大学土木工学科卒(第1期生)
  - 秋田市都市建設公社採用
  - 平成18年 秋田市議会議員(27年間勤務)
  - (有)旭川でんばた倉庫設立
  - 農業経営(水田3.0ha)
  - 平成19年 県議会議員(秋田市選挙区)初当選
  - 県議会議員4期連続当選(平成23・27・31年)
  - 現在 自由民主党秋田県連代表 議員
  - 県議会 建設委員会 議会運営委員会所属
- (主な役職) 秋田工業高等学校同窓会会長  
学校法人八戸工業大学評議員  
秋田県更正保護協議会理事  
社会福祉法人ともしび会副理事長  
秋田市サッカー協会副会長  
秋田県日中友好協会副会長  
秋田市消防団旭川分団団長(勤続33年)
- 《職業》 農業  
《資格》 一般土木施工管理技士 測量士
- ◎家族構成 両親・妻・長男夫婦・孫3人の9人家族

## 未来のために、ひとつひとつ

これからも、『県民の声を県政へ! 具体的な提案を県政へ!』  
のスタンスで活動して行きます。

- スポーツの力**  
行政と地域の協力で、  
スポーツの力は秋田を  
活性化させます
- 県土の強靱化**  
地域のインフラ改修を進め、  
安心安全、利便性の  
高い暮らしを
- 市街地活性化**  
県外・国外からの観光客、  
高齢者にも優しい  
秋田市中心市街地を
- 農林業分野の  
戦略化**  
グローバルスタンダードに  
合わせた新しい農業へ

県議会議員として16年間、一般質問と総括質問、合計54回の質問を県当局と行い、  
多様な提言を行ってきました。



工藤  
**よし のり**  
自民党公認

### 鈴木けんた プロフィール 元自衛官 4子の父

- 昭和50年大阪生まれ・神戸育ちの関西人  
妻、子ども4人+ネコ1匹
- 19歳で阪神淡路大震災に遭い、  
がれきからお年寄り3名を救出
- 直後に京都大学法学部へ入学。  
学生時代は飲食業や建設現場など様々な世界を経験
- 卒業後、陸上自衛隊へ幹部候補生として入隊  
東ティモール、イラクへ派遣
- 平成18年に30歳で退職、自衛隊同期であった  
妻の地元秋田市へ移住
- 1年間無職で猛勉強し司法書士試験に合格、  
秋田市山王の「岡田事務所」へ入所
- 同24年 事務所の代表に就任
- 同27年 秋田県議選で初当選
- 同31年 秋田県議選2期目の当選

ご期待は裏切りません。  
どうかよろしくお願ひします。

鈴木健太

平成27年、私は「秋田の政治に新しい  
風を吹かせる」という感動のよい身  
を言って、初当選させていただきました。  
あれから8年も議員として頑張っ  
てきたが、やはりそう簡単には、大きな  
変化を起せるものではないと思  
いました。

しかし、これまでの間に、私は着実に知識  
や経験を身に付け、何よりも「仲間」  
を増やせたことにより、秋田の政治の  
世代交代と変革まであと少しとい  
うところまで来られたと思います。

批判や対立をテコにした闘争でもなく、  
保守を最優先するわけでもない。  
県政与党の若返りによる変革。  
この道しかりません。

閉塞感あふれる秋田の政治に今度  
こそ風穴を開けるため、皆様の力を  
鈴木けんたに託して下さい。



鈴木  
**けんた**  
すずき  
けんた  
自由民主党 公認

### 10年後の秋田に約束。県人口の維持と新しい秋田づくり

- 主な役職
- 自民党秋田県連 政策調査会長、秋田県DX-GX推進議員連盟 会長、秋田県エアロビック連盟 会長、秋田県防衛協会 副会長、秋田県議会トラック輸送振興議員連盟 幹事長、秋田県都市計画議  
議会 委員、秋田県キッカー協会 顧問、秋田県eスポーツ協会 コアメンバー、スペシャルオリンピックス日本・秋田 顧問、日本バーテンダー協会秋田支部 顧問、秋田市PTA連合会 事務局次長、  
秋田市消防団 城東分団赤沼班長、秋田県eスポーツ協会 顧問、秋田県工業高等専門学校 野球部部長の会、秋田市立城東中学校 PTA副会長・柔道部部長の会、広面地区体育協会 顧問、秋田地区交通安全協会  
広面支部 顧問、広面商工振興会 副会長兼事務局局長、その他 (※令和5年3月現在)

秋田県議会議員一般選挙  
(秋田市選挙区)

# 選挙公報

令和5年4月9日執行  
秋田県選挙管理委員会



北林 康司

次代に「誇れる秋田」を  
創り伝えるために！

## 住みよい秋田 住みたい秋田

### 人口減少に歯止めを！

#### 若年女性の県内定着・回帰の推進

女性人口の減少が、出生率の減少に大きく影響していることから急激な人口減少という重要な課題の解決のため結婚・出産・子育て支援の充実を図り若年女性の県内定着・回帰を強力に推進していきます。

### 雇用の場の拡大

#### 海上風力発電のさらなる推進

多種多様な職場の立地を進め、若い人々を県内に残し都市部へ出て行った人々を秋田に呼び戻すことに全力を注ぎます。

### 農林業の推進

#### 新品種サキホコレの認知度拡大

新品種のサキホコレをあきたこまち同様のブランド化を目指し、認知度拡大を推進します。  
日本一の保有量を誇る秋田杉の生産コスト低減を図り国産材時代をわが県がリードしていきます。

### 教育・スポーツの振興

#### 一步進んだ教育環境の推進

全国トップクラスにある全国学力テストの成果を高校にも拡大し一步進んだ教育環境を作ります。  
また誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくりに努めます。

### 福祉の充実

#### 日本一健康な高齢者県を目指して

子育て支援策をさらに充実させ、子育てにかかる経済的負担を軽減します。  
わが県が日本一健康な高齢者県になることを目指します。

### 中小企業の事業振興

#### アフターコロナに向けて

中小企業・小規模事業者等への事業継続に必要な支援をします。飲食、宿泊、文化芸術、エンターテインメントなどの事業者のアフターコロナに向けての新たな取り組みを支援します。



自民党公認  
北林 康司

### 社民党



#### 石川ひとみの略歴

1969年3月 県立秋田北高等学校卒業  
その後、合成洗剤製造運動、戦争への道を許さない女たちの会、コミュニティユニオンなどへの参加を通じて、社会的な活動を展開してきた  
2003年4月 秋田市議会議員 初当選  
2007年4月 秋田県議会議員 初当選  
2011年4月 秋田県議会議員2期目当選  
2015年4月 秋田県議会議員3期目当選  
2019年4月 秋田県議会議員4期目当選  
現在 秋田県議会 産業観光委員会 社会民主党 秋田県連合代表

- がん患者医療用補正具助成事業実施(2017年)
- 動物愛護センターワンニャピアあきた開設(2019年)
- 高齢者と障がい者の暮らしを支える体制の強化「訪問事業者お助け駐車場」運用(2022年)
- 複合化相談施設「子ども・女性・障害者相談センター」開設(2023年)

#### ひとみこれまでの実績(一部抜粋)

- 1 平和憲法を守る  
平和憲法を守り、戦争には絶対反対します。イージス配備再燃の時は反対します。
- 2 女性の活躍  
女性の生き方・働き方を支援する体制づくりをめざし、人口減少社会に対応します。
- 3 地域の安全・安心  
秋田県の社会インフラを点検し、災害に強い安全・安心な街づくりをめざします。
- 4 雇用の創出  
安定した生活を実現するため、雇用を創出し、賃金改善と長時間労働の解消をめざします。
- 5 パート労働者の処遇改善  
パート労働者と正規雇用者の処遇格差をなくし、正規雇用の道を開くなどの具体策を訴えています。秋田の最低賃金の時間単価アップにつとめます。
- 6 教育の充実  
子どもたちに向き合う時間をつくるため、教職員の多忙解消に努め、教育の充実を力を注ぎます。

# 「いのちとくらしが最優先！」



社民党公認  
石川ひとみ

# 「未来の秋田に」つなげる。

秋田県議会議員候補  
自民党公認

## 今川ゆうさく

プロフィール 昭和47年秋田市生まれ 学校法人秋田経済法科大学(現ノースアジア大学)法人職員を経て秋田県議会議員(二期)、秋田県議会議員(現在二期目)

県議会 教育公安委員会委員長  
党務 自民党秋田市支部支部長

諸活動 (財)秋田県スポーツ協会評議員  
東北ソフトボール協会副会長  
秋田県ソフトボール協会会長  
秋田市ソフトボール協会会長  
日本ティーボール協会秋田県連盟会長  
秋田県アイスホッケー連盟会長  
秋田県社会人クラブバドミントン連盟会長  
秋田市立秋田商業高等学校硬式野球部後援会会長  
ノースアジア大学硬式野球部後援会会長  
秋田市立秋田商業高等学校PTA副会長 など

GO! YUSAKU 秋田県の底力。次の世代につなげる秋田県の創生。

- ◆ 未来の秋田を担う子供たちが学ぶ教育環境の整備・充実
- ◆ 「スポーツ王国・秋田」の復活に向けた「スポーツ立県・秋田」の推進
- ◆ 秋田の地域性を踏まえた子育て支援の充実
- ◆ 元気な長寿社会の実現に向けた福祉の充実と健康づくりの推進
- ◆ 県・市連携による持続可能な公共施設の統合整備
- ◆ 秋田県農・林・漁業の持続的発展を図るための施策の推進



## 今川ゆうさく

# 鳥井おさむ

・昭和42年10月6日生まれ(55歳)御所野在住  
・平成31年4月秋田県議会議員初当選  
・会派みらい総務会長、秋田県ラグビーフットボール協会副会長

培った知識・経験、持ち前の行動力を活かし、次代の秋田へ歩みを進めます。

## 秋田の未来創生

### 鳥井おさむはこう考える

持続可能な社会と暮らしの仕組みづくりで秋田の価値向上!

#### 防災インフラの整備

幹線道路の整備や護岸工事の着実な推進など、災害を未然に防止する都市づくりと災害が発生した場合に被災者を即座に支援できる枠組みの構築を目指します。

#### 社会福祉の充実

子育て世代に対する保育料や施設活用に関する積極的な支援とリモートを活用した医療サービスの拡充で県民の不安解消を図ります。

#### 産業の発展

最適な電源構成を訴求し再エネ関連産業による付加価値を地域社会が享受できるように取組みます。若者が求める職の企業誘致とスマート農林水産業推進で、人材の県外流出防止と県内産業の発展を目指します。

#### 誰もが輝ける住みやすい秋田

県民自らが秋田の魅力に関心を持ち、県外にアピールできるような観光支援の実施を目指します。また、様々なスポーツイベントの充実を図り、秋田が元気になる取組みを提案します。



鳥井おさむ  
とりい

# 秋田県議会議員一般選挙

(秋田市選挙区)

# 選挙公報

令和5年4月9日執行

秋田県選挙管理委員会

## たけした博英の基本政策

### 最優先事項は新型コロナ対策

医療提供体制を充実させ、経済再生と感染対策の両立の実現を目指します。また、障がいを持つ方も近隣の施設や在宅でもコロナワクチンの接種が可能な体制を整えます。中小企業・小規模事業者等への雇用や事業継続に必要な支援をし、非正規雇用者・女性・子育て世帯・学生をはじめ、コロナで困難している方への経済的支援を行います。

飲食、宿泊、文化芸術・エンターテインメント分野などの各業種の事業継続を支援し、アフターコロナに向けての新たな取り組みを支援します。



### 災害に強い郷土

近年頻発する地震・台風・洪水などの自然現象に対し、治山・治水を中心に災害に強い郷土をつくりたい。我々の暮らしの安心安全を確保するための公共インフラの長寿命化対策にも取り組んでまいります。



## 農林業の振興

秋田県の農畜産物を「安心で安全に」ブランド化し、生産拡大で農業の所得向上を目指します。スマート農業とデジタル化の推進に取り組む一方で、6次産業化などを推進し、農業所得の向上を図ります。また、若者が営農意欲を持てるような環境整備を進めます。



介護福祉士として

## 福祉の充実

お年寄りへの敬意を基本に、介護福祉の質の向上に取り組めます。また、健康寿命日本一を実現する各種取り組みを進めます。



## 全ての子どもを幸せに

安心して子どもを産み、子育てしながら働ける環境づくりに取り組めます。さらに社会的養護の質の向上と里親制度の普及促進に努めます。また、「子供の貧困」に対する問題、特にひとり親家庭の養育費の不払いについては、これまでも県議会の一般質問において対策を求めてまいりました。引き続き、女性の労働環境の遅れや常勤雇用を含め後押ししてまいります。

## 雇用促進

農産など地場産業の育成や、成長産業に特化した企業誘致で雇用を促進し、また、障がい者の雇用促進にも全力で取り組みます。また、人材不足解消を図る上で重要な若者や女性の人材確保に取り組んでまいります。



## 自殺予防対策

秋田県の自殺率全国ワーストワンの返上を先頭立って目指します。自殺はその多くが追い込まれた末の死であり、その多くが防ぐことができる社会的な問題です。包括的な支援として、保健、医療、福祉、教育、労働その他の関連施策と連携を図り、総合的に推進していきます。



## 殺処分ゼロへの積極的取組

人にも動物にも優しい社会をつくりたい。まずは、平成31年度オープンした動物愛護センター「ワンニャアあきた」を拠点として、殺処分「ゼロ」を目指します。



## 秋田県子どもを虐待から守る条例制定!

「秋田県内の児童福祉を取り巻く諸課題」について一昨年の12月から、合計13回講師をお招きして勉強会を開催してきました。この勉強会等で交わされた意見などを踏まえて、議員発議による県の条例案を作成し議会に提出いたしました。そしてこの2月議会において、「秋田県子どもを虐待から守る条例」制定へと結びつけることができました。

**たけしたの歩み**

昭和28年 秋田市雄和(旧・雄和町)に生まれる  
昭和47年 秋田市立高校(現・秋田中央高校)卒業  
昭和51年 日本獣医畜産大(現・日本獣医生命科学大)卒業  
昭和54年 青年海外協力隊員としてタンザニア連合共和国(東アフリカ)派遣  
平成元年 竹下動物病院を開業  
平成10年 旧・雄和町議会議員初当選(連続4期)  
平成21年 介護福祉士試験合格  
平成21年 秋田県議会議員補欠選挙で初当選(連続4期)



自民党公認  
**たけした**  
博英

**新しい秋田へ。共に、進もう。**

宇佐見 廉人プロフィール/1984年4月2日生まれ、38歳。市立土崎南小学校(副校長)・市立将野中学校(野球部指導)・県立秋田西高等学校(野球部投手)・秋田経済法科大学(現ノースアジア大学)法学部卒業。父親が経営する株式会社宇佐見経営に就職後、27歳で独立。起業家支援、地域活性化事業に携わる。31歳で秋田市議会議員選挙当選、35歳で秋田県議会議員選挙当選。現在は、県議会福祉環境委員会副委員長、自民党秋田県連総務副会長、同政調査副会長、妻と3人の娘(7歳、3歳、1歳)。

Twitter Facebook Instagram

うさみやすひと オフィシャルサイト <https://yasuhi10.com>

## うさみやすひとは、安心と希望をつくりたい。

- 1. 物価高・エネルギー価格高騰対策**  
物価高対策として、省エネ・クリーンエネルギーの利用促進、農林水産物の産地地消に取り組めます。また、材料費上昇分の価格転嫁支援、福祉施設などへの経費支援、生活困窮者へは、「緊急小口資金」[自律支援金]の活用を啓発します。
- 2. 子ども「ど真ん中」政策**  
子どもの貧困対策、発達障がい児支援、ヤングケアラー対策、重度障がい児への支援、スクールソーシャルワーカーの拡充を実現しました。全議員の中で児童福祉に最も取り組んできた自負があります。
- 3. 人口減少対策に全力投球**  
人口減少に歯止めをかける取り組みはもちろんですが、人口減少局面を前提とした施策も必要です。結婚・出産の支援、周産期医療体制の更なる強化、資金水準の向上支援を行い、人口減少局面でも成長できる社会を構築します。
- 4. 若者と女性の活躍で持続可能な社会の実現へ**  
これまでも働き方の見直しや産休育休取得の促進、学び直しの機会の拡充などを実施。持続可能な秋田を次世代に残すために、若者の就業支援、一人ひとりが選択できる子育て環境の整備、交通インフラの整備に取り組めます。
- 5. 秋田の元気を港から!**  
県全体の発展には物流・観光拠点を担える秋田港の振興が不可欠。アクセス道路や洋上風力発電の整備、クルーズ船の受け入れ強化などに取り組んでまいりましたが、さらに、水素生成の拠点化など経済基盤の強化に取り組めます。
- 6. スポーツで秋田を元気に!**  
新県立体育館(アリーナ)と新スタジアムの整備を促進します。スポーツチームを観光振興やプロモーションの重要なコンテンツ、準公共財と位置づけ、チームと秋田県が互いに高め合い、活用しあえる関係をつくりたい。
- 7. 気候変動にも対応した農林水産業**  
一般質問で取り上げ、秋田県もカーボンニュートラルを宣言。気候変動は農林水産業への影響も顕著。先輩たちがつないだ宝を育て、新規就農者が希望を持てる農業を展開し、気候変動の緩和策としての農林水産業支援も提案します。
- 8. 防災減災対策と東京一極集中の打破**  
東京一極集中の打破を目指し、製造拠点を県内回帰を支援します。また、大規模災害が発生することを想定したリスクコミュニケーション教育の強化を行うことで、自助、共助、公助を基本とした防災減災教育にも力を入れます。



**うさみ**  
やすひと

**エネルギーの産地地消で、企業・家計の負担軽減と産業振興を。**

**日本一の子ども・子育て支援を**

- 医療費・給食費など子育て負担の段階的完全無償化
- 秋田暮らしを応援する若者手当(仮称)の創設
- 不登校や貧困など、子どもの困難に対する社会的支援
- 産前・産後、多胎妊娠、不妊・不育症などへの支援充実

**誰ひとり置き去りにしない社会を**

- 橋下する公共交通網に歯止めをかけ、再編・充実へ転換
- 県市連携での除排雪の強化や仕組みの抜本的見直し
- 障がい児者の居場所と仕事づくり、優先調達の徹底
- 介護・保育人材の待遇改善、在宅を含めた介護難民ゼロ

**地元企業の仕事・雇用を守り、育てる**

- 公共事業・公共調達の地元発注を徹底
- 女性が働きやすい職場づくりへの新たな支援制度創設
- 企業努力だけに任せない官民一体での資金アップ
- 加工販売を含めた「稼げる」農業化と若手後継者支援

**アフターコロナ元年。経済復興を加速**

- 物価や燃料価格の高騰に対する中小企業支援
- 観光業や飲食業に対する支援による企業人財誘致
- ICT・ITコンテンツ産業の育成による企業人財誘致
- コロナ対応を続ける医療・介護従事者への支援

**秋田も、変わる。**

(プロフィール) 昭和48年 秋田市仁井田生まれ。秋田市立仁井田小学校、御野場中学校、県立秋田南高校卒業。秋田大学教育学部を卒業後、秋田県庁に入庁。秋田の現状を打破するため、一念発起し、政治の道へ。県議会議員を経て秋市長選に挑戦。落選を糧にして、再び前へ。秋田市横森在住。

沼谷純の思いをこちらからご覧ください。 YouTube

**沼谷純** ぬまや じゅん

再始動。秋田のために。

三年に及ぶコロナ禍で、秋田の経済や暮らし、地域のコミュニティなどが大きく傷んでいます。そこに今、電気代や物価の高騰などが、企業や家計の大きな負担としてのしかかっています。また、県都秋田市では様々な開発構想や整備計画がありますが、政治決断できずに時間だけが過ぎていくものもあります。政治家として、もう一度、この秋田の厳しい現状を打開し、停滞する政治を前に進めるため、再起を決意いたしました。二年前、私は落選を経験しました。一市民として暮らす中で改めて痛感したのは、政治の主体は「一人だ」ということです。子ども、若者、女性、現役世代、シニアの皆さま、性別や年齢、障がいの有無に関わらず、この街に暮らす人々が、この街の主体、政治の主体です。街づくりも、産業も福祉も、ここに暮らす私たち、そして次の世代がいるからこそ、意味があります。人を大事にする政治、秋田を変えようという決意、そのことに全力で取り組んでいくチャンスも、もう一度私に与えてください。

**4月9日 秋田県議会議員一般選挙**

期日前・不在者投票は8日まで

あなたが動けば、あきたが動く

投票所では感染症対策を講じています

入場時の消毒 距離の確保 定期的換気

ご協力よろしくお願いいたします  
秋田県選挙管理委員会  
秋田県明るい選挙推進協議会

〒010-8570 秋田県秋田市長山田1番1号  
TEL:010-860-1145 秋田県選管